

同じような薬をいくつも飲まなきゃいけないんですか？

吉良内科循環器クリニック 院長 吉良 哲也



外来にて、「先生、私は血圧の薬を2つ、糖尿の薬は3つも飲んでます。同じような薬をいくつも飲まなきゃいけないんですか？ どれか1つでいいんじゃないんですか？」と言われることがあります。

薬は極力減らしたい、頼りたくないというお気持ちはよくわかりますし、医師として私も同じ気持ちです。しかし薬をお出ししているのには理由があります。

例えば高血圧で薬を内服する場合、1つの薬で下がる血圧は5~20mmHg程度です。そのため、1つの薬だけで血圧が良好な値まで低下する人は、約4割と言われており、半数以上の方は1種類では効果不十分のため、血圧の薬だけで2種類以上、多い人では5種類程度服用が必要になる場合もあります。

同様のことは糖尿病や脂質異常症の場合にも言えます。糖尿病で最大6種類、脂質異常症では3種類程度の効果の異なる薬を組み合わせる使用することがあります。

少ない薬で良好な値が得られるに越したことはありません。しかし病気の程度が重く、もともとの数値が高い場合には、少ない薬では効果不十分のまま、動脈硬化の進行や体の障害をみすみす許してしまうこととなります。そのため薬を増やしてでもしっかりと良好な値を維持する必要があります。

最近では合剤といって、2種類の薬をくっつけて1錠にまとめた薬が登場し、その種類も増えてきています。合剤を使用することで、薬の中身は増えても服用する薬の数は変わらず、価格も1錠にまとめた方が安くなるのがほとんどですので、当院でも積極的に使用しています。

また生活習慣病の改善には、食事・運動療法も重要です。食事・運動に気を付けても、病気そのものを消してしまうのは困難ですが、病状を軽くして薬を減らせる可能性はあります。しっかりと指示通りに内服するとともに、食事・運動の改善にも取り組んでみてください。

吉良内科循環器クリニック 大分市大字角子原 870 TEL097-522-3000